

## 第118回 地区内中小企業景気動向調査結果

(平成30年4～6月期実績・平成30年7～9月期見通し)

1. 調査時点 平成30年6月1日～6月7日
2. 調査対象企業数 173社中回答 173社 回答率 100.0%

区分	調査対象企業の範囲	調査対象企業数	有効回答数	有効回答率(%)
製造業	従業員 300人以下	37	37	100.0
建設業	〃	43	43	100.0
卸売業	従業員 100人以下	7	7	100.0
小売業	従業員 50人以下	56	56	100.0
サービス業	〃	30	30	100.0
合計		173	173	100.0

### 3. 調査方法

当金庫調査員の面接聞き取りによる感触調査です。

調査対象企業は、当金庫の営業区域（新冠町～広尾町）内に所在する企業とし、その抽出は、各業種・規模等の基本属性の構成が、調査対象母集団の属性に見合う一定基準に基づいて有意抽出で行っています。

### 4. 分析方法

各質問項目で「増加（上昇）」したと回答した企業の全体に占める構成比と、「減少（下降）」したと回答した企業の全体に占める構成比との差（判断指数・DI値）を中心にして分析を行っています。

なお、同時に信金中央金庫 地域・中小企業研究所が行う、全国調査結果と地区内との比較分析を行っています。

### 5. お問い合わせ先

日高信用金庫 業務部地域貢献課（TEL. 0146-22-4100、内線 611）  
〒057-0013 浦河郡浦河町大通2丁目31番地2

## 全業種総合 173 企業 (回答率 100.0%) の調査結果です











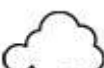



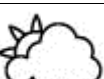



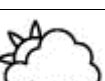


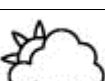
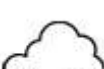


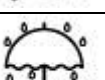






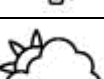
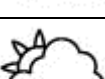
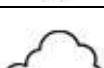

### □ 概 況








今期(平成 30 年 4～6 月期)の業況判断 D. I. は△19.0 と、前期(△30.6) (平成 30 年 1～3 月期)比 11.6 ポイント改善した。また、前年(△16.8)比では 2.2 ポイントの悪化となった。前期(平成 30 年 1～3 月期)調査時点での今期(平成 30 年 4～6 月期)見通し(△12.1)を 6.9 ポイント下回る水準となった。業種別には、製造業△16.2(前期△32.4)、建設業△7.0(同△27.9)、卸売業△42.9(同△42.8)、小売業△32.0(同△32.1)、サービス業△10.0(同△26.7)となった。

売上額判断 D. I. は 1.1 と前期(△35.9)比 37.0 ポイント上昇、収益判断 D. I. は△6.9 と前期(△37.6)比 30.7 ポイント上昇した。

来期(平成 30 年 7～9 月期)の予想業況判断 D. I. は△5.2 と、今期実績比 13.8 ポイントの上昇見通しとなった。業種別にみると、製造業(今期△16.2)△5.4、建設業(同△7.0)11.6、卸売業(同△42.9)0.0、小売業(△32.0)△16.1、サービス業(同△10.0)△10.0 と来期を見通している。

### 【業種別天気図】

時期 業種	地 区 内				北 海 道	全 国
	29年 10月～12月	30年 1月～3月	30年 4月～6月	30年 7月～9月 見通し	当 期	当 期
総 合						
製 造 業						
建 設 業						
卸 売 業						
小 売 業						
サ ー ビ ス 業						

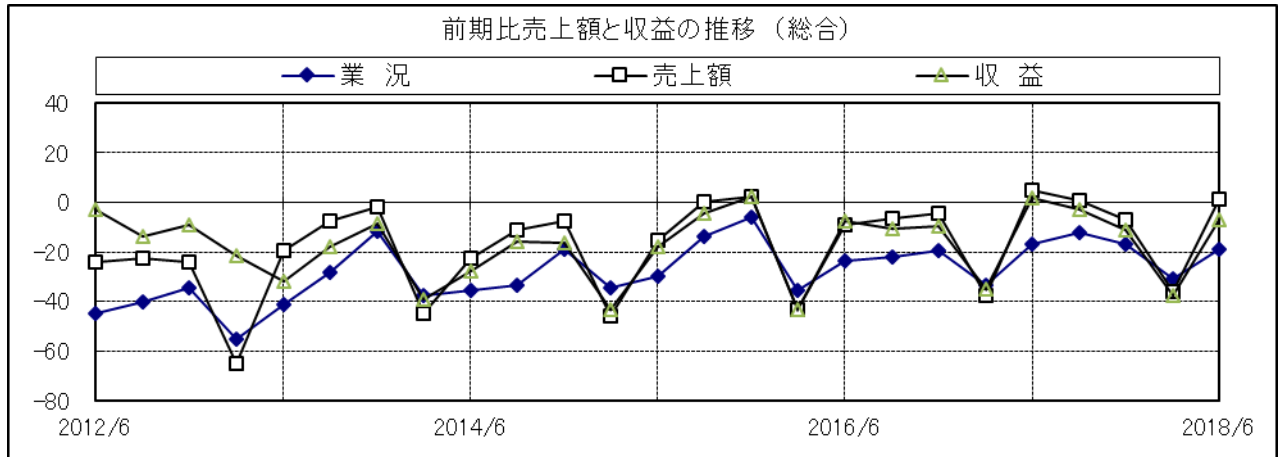
好調 ←        → 低調

この天気図は、景気指標を総合判断して作成したものです。

## □ 景 況

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
業 況	-16.7	-30.6	-19.0	-5.2
売上額	-6.9	-35.9	1.1	9.8
収 益	-11.0	-37.6	-6.9	2.4

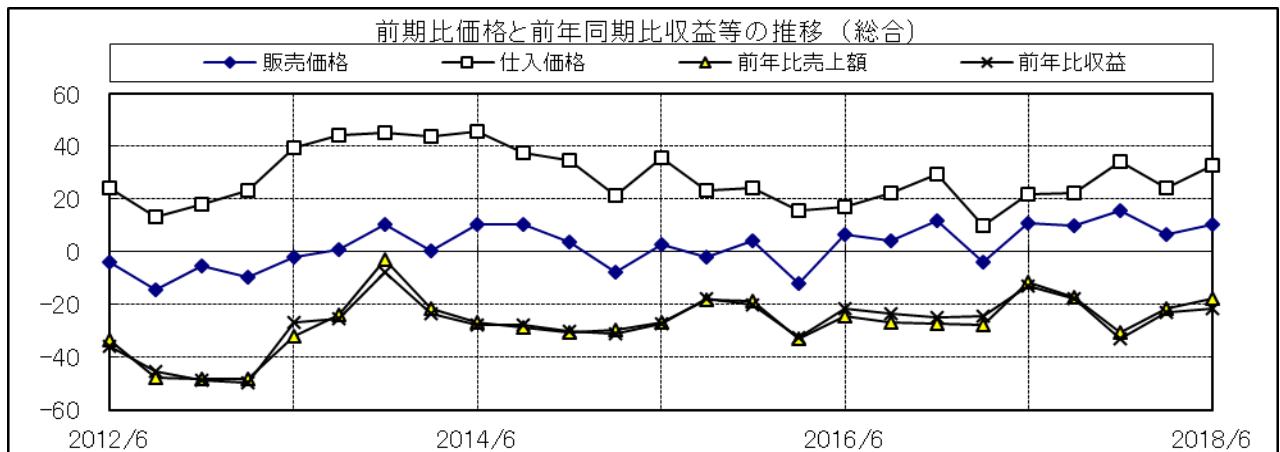
全業種総合の今期の業況判断D. I. は△19.0で、前期比11.6ポイント上昇した。地区別のD. I. は、高い順に、えりも、静内、浦河、三石、広尾、様似となった。前年(△16.8)比では2.2ポイント下降した。売上額判断D. I. は1.1で前期比37.0ポイント上昇、収益判断D. I. は△6.9で前期比30.7ポイント上昇した。



## □ 価格面、前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
販売価格	15.6	6.4	10.4	5.8
仕入価格	34.1	24.3	33.0	23.2

販売価格判断D. I. は10.4で、前期比4.0ポイント上昇、前年(11.0)比では0.6ポイント下降した。仕入価格判断D. I. は33.0で、前期比8.7ポイント上昇、前年(22.0)比で11.0ポイント上昇した。販売価格を業種別にみると製造、建設、サービス業が上昇し、小売業が下降した。仕入価格では、小売業が下降し、他全業種が上昇した。



## □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
残業時間	0.0	-11.5	-2.9	2.9
人手状況	-21.4	-14.4	-13.9	-17.3

残業時間判断D. I. は△2.9と、前期比8.6ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断D. I. は△13.9と、前期比0.5ポイント上昇し、前期とほぼ同水準となった。

## □ 設備投資の動き

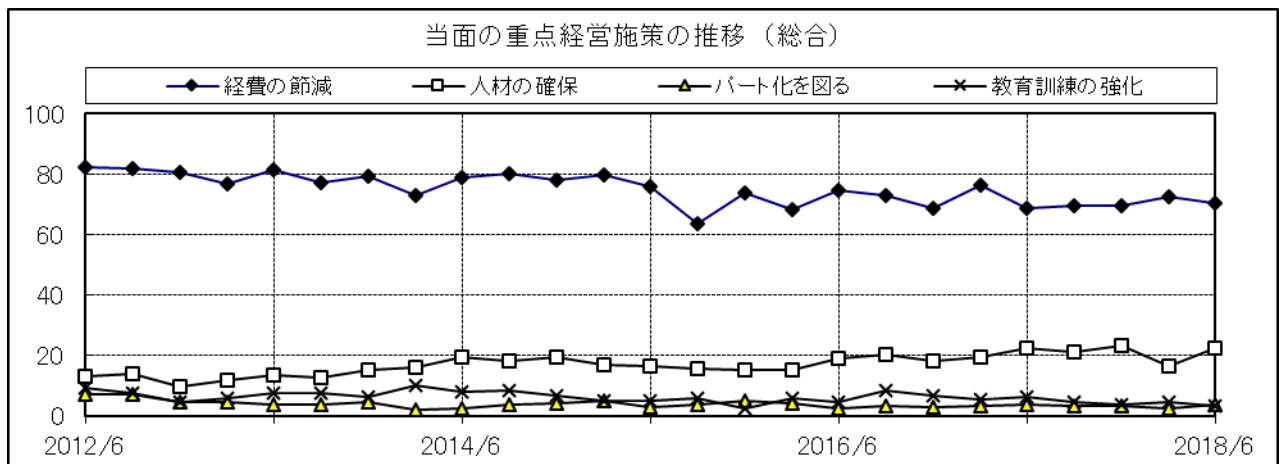
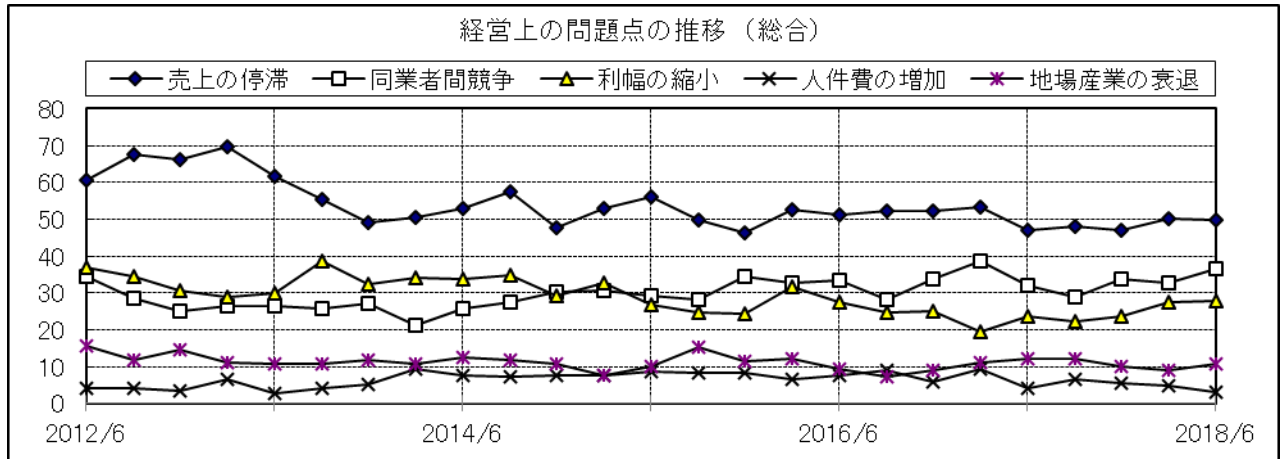
設備投資の充足感を示すD. I. は $\Delta 7.5$ で、前期( $\Delta 9.2$ )比1.7ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は11.0%で、前期(8.1)比2.9ポイント上昇した。設備投資は、前期14社に対し、19社の実施となった。来期の設備投資は、12社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が49.7%で最も多く、次に「同業者競争」36.7%、「利幅縮小」27.8%、「人手不足」16.6%、「地場産業衰退」10.7%、「天候不順」4.7%、「諸経費増加」3.6%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が70.4%で最も多く、次に「人材確保」22.2%、「パート化を図る」3.7%、「教育訓練強化」3.1%、「不動産有効活用」1.9%となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は $\Delta 5.2$ と、今期比13.8ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は9.8と、今期比8.7ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は2.4と、今期比9.3ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D. I. は5.8と、今期比4.6ポイントの下降を見通している。

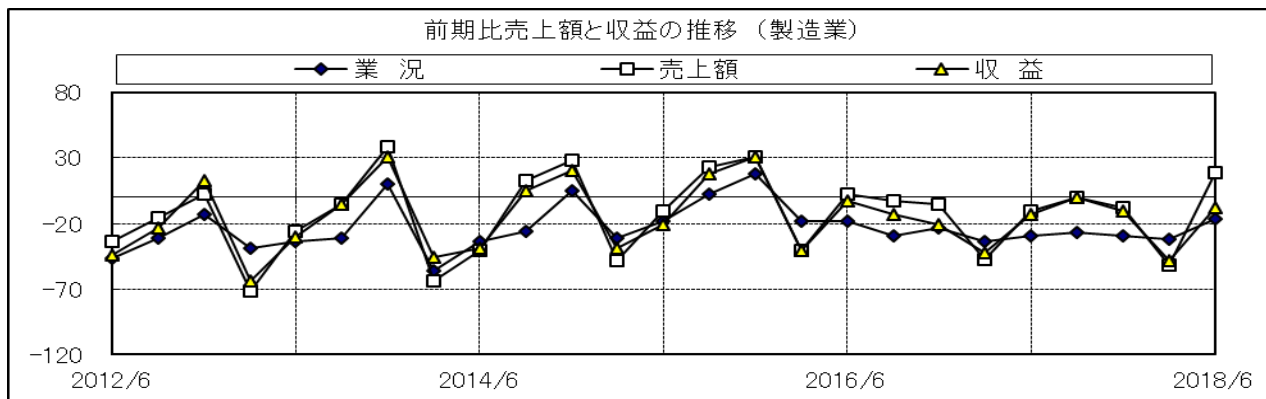
予想仕入価格判断D. I. は23.2と、今期比9.8ポイントの下降を見通している。

## 製造業 37 企業 (回答率 100.0%) の調査結果です

### □ 景 況

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
業 況	-29.7	-32.4	-16.2	-5.4
売上額	-8.1	-51.4	18.9	18.9
収 益	-10.8	-48.6	-8.1	8.1

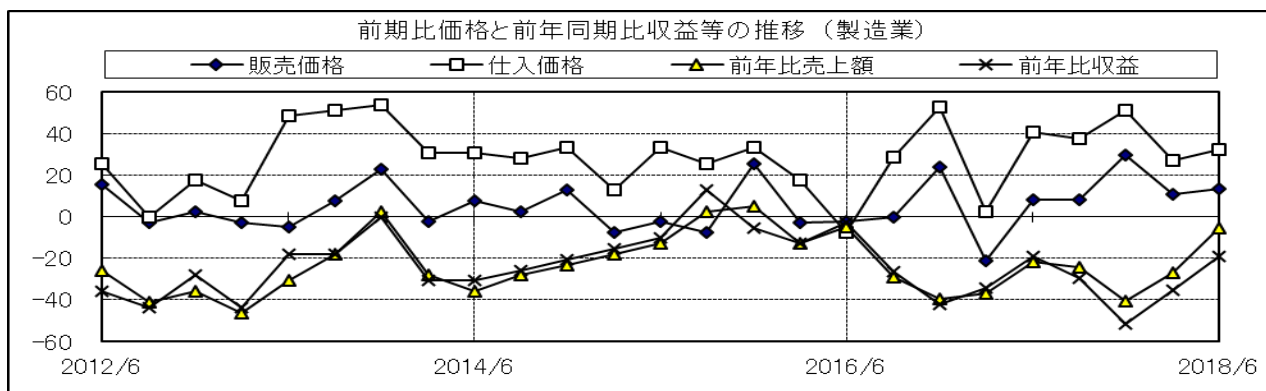
今期の業況判断D. I. は△16.2で前期比16.2ポイント上昇した。地区別のD. I. は高い順に、浦河が最も高く、えりも、様似、広尾、静内と続き、三石が最も低い水準となった。前年(△29.7)比で13.5ポイント上昇した。売上額判断D. I. は18.9で前期比70.3ポイント上昇、収益判断D. I. は△8.1で前期比40.5ポイント上昇した。



### □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
販売価格	29.7	10.8	13.5	2.7
仕入価格	51.3	27.0	32.4	24.3

販売価格判断D. I. は13.5で、前期比2.7ポイント上昇、前年(8.1)比で5.4ポイントの上昇となった。仕入価格判断D. I. は32.4で、前期比5.4ポイント上昇、前年(40.5)比では8.1ポイントの下降となった。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
残業時間	0.0	-21.6	-8.1	-2.7
人手状況	-21.6	-10.8	-13.5	-21.6

残業時間判断D. I. は△8.1で、前期比13.5ポイント上昇、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。人手過不足判断D. I. は△13.5で前期比2.7ポイント下降し、人手不足感が強まった。

## □ 設備投資の動き

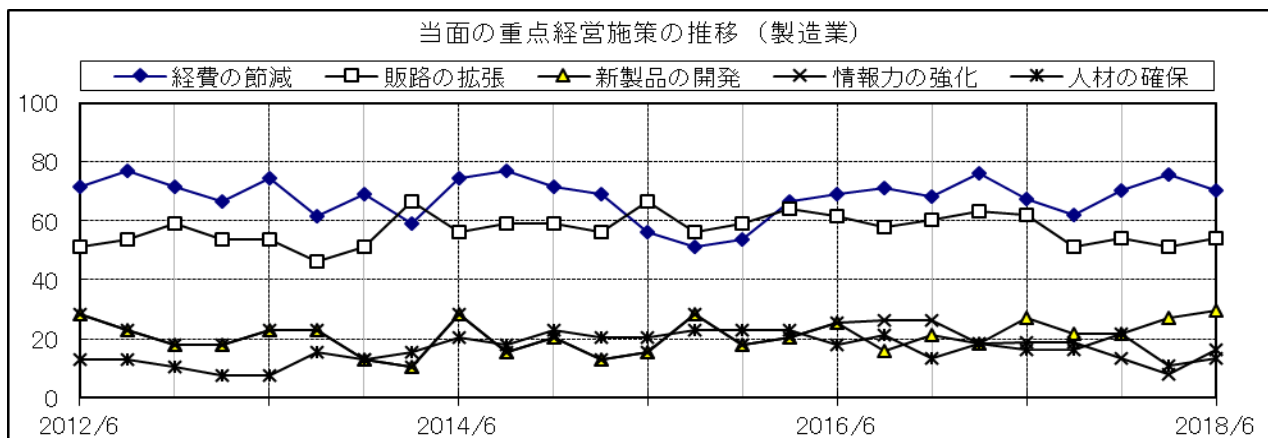
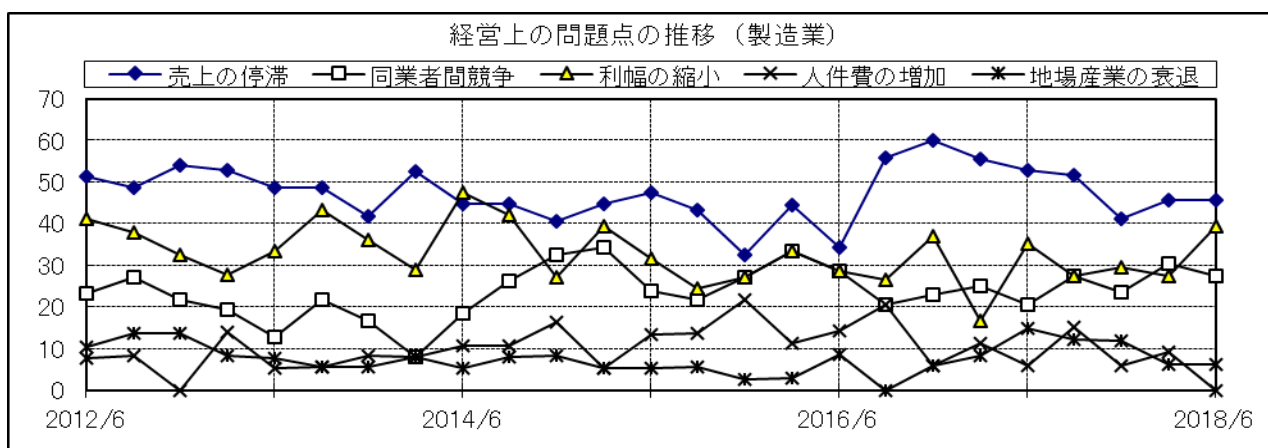
設備投資の充足感を示すD. I. は△13.5で、前期(△13.5)と同水準となった。

設備投資実施企業割合は24.3で、前期(10.8)比13.5ポイント上昇した。設備投資は、前期4社に対し、9社の実施となった。来期の設備投資は、5社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「原材料高」が63.6%と最も多く、「売上停滞減少」45.5%、「利幅縮小」39.4%、「同業者競合」27.3%、「人手不足」18.2%、「生産能力不足」12.1%、「大手企業競合」9.1%、「値上げ要請」・「工場機械老朽化」・「地場産業衰退」・「天候不順」が同率の6.1%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が70.3%と最も多く、「販路拡大」54.1%、「新製品開発」29.7%、「情報力強化」16.2%、「人材確保」13.5%、「提携先確保」10.8%となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△5.4と、今期比10.8ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は18.9と、今期と同水準を見通している。

予想収益判断D. I. は8.1と、今期比16.2ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D. I. は2.7と、今期比10.8ポイントの下降を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は24.3と、今期比8.1ポイントの下降を見通している。